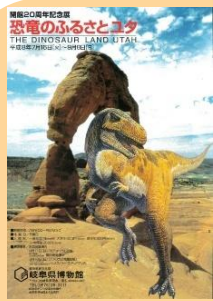


祝 開館20周年

平成8年
(1996)



特別展「恐竜のふるさとユタ」開催(7/16～9/8)。開館20周年を記念して岐阜県と友好関係にあるアメリカ合衆国ユタ州の自然を広く紹介。ジュラ紀に生息したディプロドクスやスーパーサウルス、アロサウルスなどアメリカの恐竜や古生代の化石、また植物や昆虫など現在のユタ州の自然の様子も紹介した。

かねてより恐竜研究で交流のあったユタ州のブリガムヤング大学附属地球科学博物館と友好提携を結んだ(8/18)。



百年公園との共催企画として写生大会を開催。博物館の外観や館内の展示物、公園内の自然など思い思いの場所を自由に描き、素晴らしい作品が完成した。

平成10年
(1998)

モンゴルから恐竜化石がやってきた



特別展「恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち」を開催(7/16～9/15)。肉食恐竜ヴェロキラプトルと植物食恐竜プロトケラトプスの格闘中の化石はモンゴル国宝級の標本で展示の目玉となった。

1泊2日の恐竜ナイトツアー(夜の博物館探検)が始まった。恐竜たちのいる暗い館内を探検したり、館外へ出てカブトムシやクワガタを観察したり!おやすみは恐竜の足元で...



岐阜県博物館初代公式キャラクターのハックドン誕生!展示チラシやポスターで大活躍。

アロサウルスが仲間入り

メインホールにアロサウルスの全身骨格標本が常設展示として加わった(3月)。



ボクのモデルだよ～



平成11年
(1999)

国内最大級! 巨大ヒノキ現る!

特別展「すばらしき東濃の自然再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」を開催(9/23～11/26)。東濃の湿地や恵那山に自生する植物の生態を中心に紹介。



平成12年
(2000)

ようこそステゴサウルス

本館3階メインホールにステゴサウルスの全身骨格(レプリカ)が加わった(9月)。恐竜コーナーが充実していく!



ステゴサウルスの組み立て風景



3階ホールの神坂大檜の模型はこの時に作られた。「うろ」を含め下から3m分を実物大のレプリカに。内部をくぐり抜けながらヒノキの巨大さを直接体験できる。常設の体験型展示として現在も親しまれている。

平成13年
(2001)

らくらく! スロープカー完成!

全国からスロープカーの名前を募集。最終選考に残った6つの候補から「らくらく号」に決定。



平成14年
(2002)

昭和の居間が常設に & タマゴタケがお出迎え



夏期特別展「昭和のくらしの歩み～30年代を中心に～」を開催(7/19～9/7)。数年かけて県民の方から寄贈いただいた昭和の資料を一挙に公開する展示となった。特別展終了後、昭和の居間が4階休憩コーナーに常設された。

秋季特別展「野の幸・山の幸・岐阜～発見!キノコと山菜・薬草の魅力～」開催(9/27～11/24)。キノコを中心に400点超の標本やレプリカを展示。見るだけではなく、においを嗅ぐ、さわる、探す、遊ぶなど体験型の展示も豊富であった。



3階ホールのタマゴタケ模型はこの時に作製された

平成15年
(2003)

発車オーライ! ミニSL運行

特別展「線路はつづくよ～岐阜の鉄道のあゆみ～」を開催(7/16～9/4)。県内の鉄道のあゆみと果たしてきた役割についての展示。関連催し物として、岐阜工業高校による「ミニSLに乗ってみよう」が行われ人気を博した。

平成17年
(2005)

